

ff 診察室こぼれ話

マダニが媒介する感染症、SFTS＝「重症熱性血小板減少症候群」が2025年、これまでに全国から報告された患者数は91人となりました。これは、これまでで最も多かった一昨年の同じ時期を上回ったことが、国立健康危機管理研究機構のまとめでわかりました。地域別に見ると高知県で11人、大分県で8人、島根県と長崎県で7人、熊本県で6人、三重県、岡山県、山口県で5人ずつなどとなっています。NHKが各地の自治体に取材したところ、静岡県、愛知県、三重県、香川県、宮崎県の5つの県で少なくとも9人が死亡したと報告されています。専門家は「感染が確認されている地域が広がりつつある」として対策を呼びかけています。SFTSは2011年に中国で初めて報告された新興感染症で、主に東アジア、東南アジアで感染例が報告されている疾患です。感染すると発熱、消化器症状、血小板数の減少などがみられ、重症の場合は死に至ることもある病気です。

SFTSは、SFTSウイルスを保有するマダニに吸血されることにより感染します。シカ、アライグマ、ノウサギといった哺乳動物が感染しますが、感染した動物の多くは発症せずにウイルスを保有したままです。そしてそのウイルスを保有した動物を新たなマダニが吸血することにより、ウイルスが伝播していきます。

SFTSを発症したイヌやネコといった伴侶動物からヒトへの感染や、ヒトからヒトへの感染も確認されています。マダニを介さずに、感染した動物の血液、体液などとの接触により感染がひろがる可能性があります。飼い猫、飼い犬への口移しでの餌を与える行為は避けましょう。また、イヌやネコを散歩させた後は体表をよく観察し、ダニがついていないか確認しましょう。



イヌ・ネコが感染すると発熱・元気消失・嘔吐・黄疸など

の症状を示し、重症化して犬は約3割、猫は約6割が死亡しています。SFTSの予防として、山や草むらでの屋外作業の際には長袖長ズボン・帽子・手袋等を着用して肌の露出を減らすようにし、マダニに吸血されないようにしましょう。マダニに刺されたら、虫体が吸血して大きくなってから気づくことがほとんどです。マダニに吸着されてからの時間が短いほど、除去は容易です。先のとがったピンセットで口の部分をつかんで、引き抜くことができます。そのとき、マダニの口の部分が皮膚に残らないよう慎重に取りましょう。また、マダニの腹部を押さえると、マダニの体液が皮膚内に流入することがあるので危険です。

（厚労省・NHKのホームページ参照）

あれこれ情報版



9月1日、児島医院は鳴尾御影線沿いに新築移転します。今の診療所から南西に約100mのところにあります。車を3台駐車することができます。自転車置き場も設置。

(2階、3階は賃貸マンションです)

★今後の予定★

8月28日(木) 午前中診療(午後休診)
 29日(金) 引っ越し作業のため1日中休診
 30日(土) 内覧会(10時~15時)
 ご自由にご見学ください
 9月1日(月) 児島クリニックとして新規開業



夏季休診のお知らせ

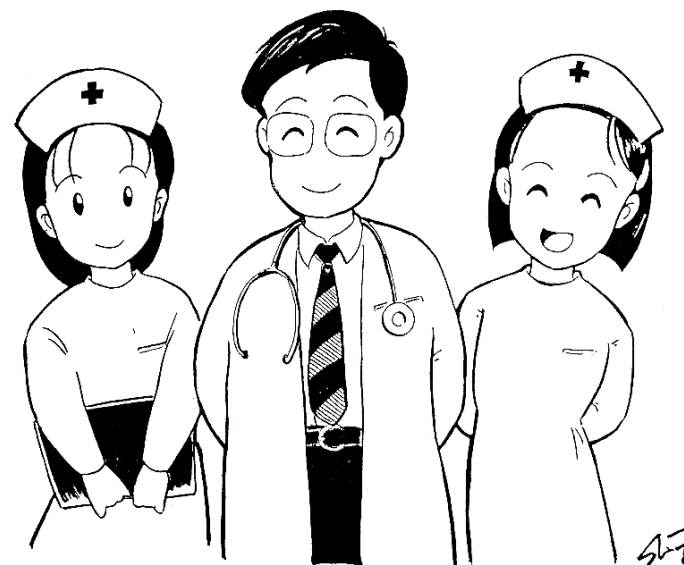
8月12日(火)から16日(土)まで休診

8月18日(月)より平常通り診療します。

10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日
日	月・祝	火	水	木	金	土	日
休	休	×	×	×	×	×	休

すこやか通信

'25 7-8号 Vol.167



内科・循環器内科・小児科・皮膚科・泌尿器科

神戸市東灘区深江北町 2-8-26

☎078-431-0696

児島医院